

令和7年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

学校の概要

大阪市立小林小	学校	児童数	20
---------	----	-----	----

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	16.60	16.60	27.40	35.90	40.80	9.80	150.00	23.80	48.87
大阪市	15.70	19.17	33.01	38.63	45.42	9.52	148.43	20.76	51.54
全国	15.96	19.46	33.88	40.89	47.94	9.46	150.93	21.06	53.02
女子	15.80	19.10	34.00	34.00	25.60	11.20	136.10	10.50	47.83
大阪市	15.40	18.33	37.58	36.86	35.15	9.83	139.41	12.67	52.58
全国	15.61	18.36	38.15	38.70	36.85	9.77	142.34	13.11	53.97

結果の概要

本校の体力合計点は、男子が大阪市平均を2.67ポイント、全国平均を4.15ポイント、女子が大阪市平均を4.75ポイント、全国平均を6.14ポイント下回る結果であった。男女ともに「握力」においては、大阪市平均および全国平均を上回る結果となっている。また、女子は「上体起こし」、男子は「ソフトボール投げ」において、大阪市平均および全国平均を上回る結果となっている。

児童質問紙項目「運動やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的に回答した割合は、男子86.7%、女子33.3%となり、男子は大阪市平均および全国平均を上回り、女子は大阪市平均および全国平均を下回る結果となった。

1週間の総運動時間が60分未満の児童の割合は、男子21.4%、女子16.7%であった。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

児童質問紙項目「体育の授業では、進んで学習に参加していますか」に対して、肯定的に回答した割合は、男子93.3%、女子100%であった。また、「運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツをすることは好きですか」に対して、肯定的に回答した割合は、男子93.4%、女子83.3%であった。これらの結果から、多くの児童が体育の授業に意欲的に取り組み、運動に対して前向きな意識をもっていることが分かった。

本校では、新体力テストの結果をもとに、瞬発力や走力の向上に取り組み、体育科の学習で片足立ち等の体幹を鍛える準備運動を行ったり、学級遊びやたてわり班遊びで「おにごっこ」や「しっぽとり」等の走る遊びを積極的に行ったりした。また、児童の体力向上の取り組みとして、「かけあし集会」や「なわとび集会」を実施した。このような取り組みの成果として、年度末に行った「50m走」では、全校児童の81%が記録を向上させることができた。今後も、日常的に運動に親しむことができるような取り組みを継続・工夫するとともに、体育の授業の中で「できた」「がんばってよかった」と実感できる場面を大切に、運動やスポーツをすることが好きな児童を増やしていきたい。